

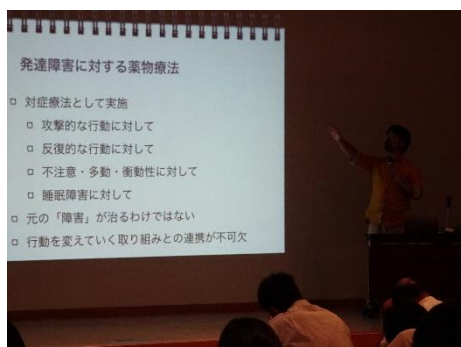
掲載特別支援教育研修会2017

医療と上手に付き合う方法

～発達障がいの子どもの薬との付き合い方～

【日時】平成29年8月28日（13：30～16：30）

【場所】郡上市役所 防災研修センター



【講師】吉川 徹 様

愛知県心身障害者コロニー中央病院 児童精神科医長
あいち発達障害者支援センター 副センター長

NPO 法人日本ペアレント・メンター研究会副理事長、
日本児童青年精神医学会代議員、日本自閉症スペクトラム学会評議員、常任編集委員、日本青年期精神療法学会理事などを担当されています。

【研修内容】

今回の研修会では、「医療と上手に付き合う方法」という内容で、講話をしていただきました。

発達障がい児の支援における医師の役割や、医療の対応できることとできないことを分かりやすく教えていただき、児童精神科医が少ない岐阜県の現状の中で、医療の効果的な利用の仕方について学ぶことができました。また、「身近な人が子どもの「仮の」理解にたどり着かないと支援は始まらない」との話があり、普段の子どもの様子をよく把握することの大切さを感じました。

薬物療法に関して、エビリファイ、メチルフェニデート等、実際に子どもに処方されている薬の効果・副作用だけでなく、正しく処方するためには行動分析が重要であること、服薬中に注意しなければいけない症状・行動についても詳しく教えていただくことができました。

さらには、強度行動障がいや二次障がいの対応について、本人の暮らしの中で支援が受けられるよう、地域との連携が必要であり、そのために学校の果たす役割は大きいことも教えていただきました。医療・福祉・家庭・学校が連携をとり、子ども達の支援者を増やしていきたいと思えます。

今回は、児童精神科の視点から特別支援教育を考えることができ、参加者一同、大変貴重な内容に深く聞き入っていました。研修会で教えていただいたことを子ども達のために生かしていきたいと思えます。

